

県内工芸の輸送機産業等に対する製品に関する試験・研究開発

－木質複合材料の製品開発研究（第3報）－

Study on utilization of Aomori craft technology in transportation industry.
- Product development research on wood composite materials (3rd Report)-

濱田 圭、館山 大、小松 勇、今井 公文*
(*株式会社 今井産業)

近年、建築のみならず列車やバスなどの輸送機の内装材に伝統工芸を採用する事例が増えており、関連業界にとって新市場参入の好機である。そこで、県内の漆や木工芸の工業規格による試験と、それを踏まえた技術および製品開発を行い、輸送機産業や建築材産業など新たな産業分野に進出するための基盤整備を行う。

(1) 前年度の試験で、耐湿潤冷熱繰り返し試験後の燃焼試験の結果が安定しなかったことから追加試験を行った。結果、その要因がプライマーの未乾燥状態であることが判明し、養生時間をメーカーの推奨時間より長くする事で解決した。

(2) 試験結果をもとに木工産業を対象として木材の難燃処理技術について研修会「木と漆の勉強会」(R3 7/9)を開催した。

(3) 紫外線防止剤を混合した上塗剤の効果について追試験を行っている。

(4) 共同研究企業と取り組んでいる新開発製品の特許と意匠を出願した。

特許名: 木質波状板材製三次元曲面具備成形物、その成型方法、および三次元曲面具備成形物成型用型(特願 2021-143371)、意匠名: ランプシェード鼓型(令和4年3月16日出願)

(5) これまでに確立した難燃処理を施した材料を用いて、小型の屋台「モバイル屋台」を試作した。



写真1 技術研修会「木と漆の勉強会」



写真2 試作品「モバイル屋台」